

教員研修では教材指導や造形あそび、劇あそびなど、新学期からすぐに役立つことのできる研修が行われました。

教員研修のスタートは「どうやって他人に気持ちを伝える」と題し、
玉木弁立先生（当会理事・久里浜幼稚園園長）にお話しいただきました。子どもや保護者との意思疎通がうまくいかない事例を紹介しながら、どのようにすれば自分の気持ちがきちんと伝えられるかについて講義いただきました。

夕食をはさみ、19時からは
山陽学園短期大学の鳥越亜矢先生を講師に迎え、紙コップを大量に使った造形あそびを研修しました。60数名の受講者に対し、用意された紙コップは9,000個！紙コップを逆さまにして、思い思いの形に並べたり、積み重ねたりしました。鳥越先生からこの活動のねらいや幼稚園での活動の様子をお話しいただいた後、紙コップあそびを再開。「紙コップシャワー」や「紙コップの輪転がし」など、さらにあそびが発展し、会場は多いに盛り上がりました。

2日目は教員免許状更新にも対応した講習を含め午前中に3つ、午後に2つの分科会が催されました。

当会指定教材の活用方法の講座では、教材「めざましあそび」を中川登美子先生（当会教育顧問）、「ファーストシリーズ」を中村真理子先生（四国大学短期大学部講師、当会研究部講師）、「スタートシリーズ」を小林まき子先生（当会研究部講師）に担当いただきました。



大量の紙コップで思い思いに造形あそび



グループに分かれて作品づくり 大橋功先生の講座



佐藤 厚 先生

中川先生からは子ども同士のコミュニケーション能力や読解力の基礎を育てる指導のポイントなど、「めざましあそび」が大切にする教育観についてお話しいただきました。

教員免許状更新にも対応した講習では領域「表現」分野の研修として、岡山大学大学院准教授の大橋功先生より「幼児の発想を導く絵の具の魅力」をテーマに学びました。絵の具の扱い方の基礎から子どもの楽しい表現を引き出す主題の設定などを教えていただくとともに、グループに分かれて実際に絵の具を使って作品をつくり、発表しました。

午後は「創って楽しむ劇あそび」として、上田女子短期大学准教授の佐藤厚先生に研修いただきました。

机と椅子を取り払った広い会場で、受講者は実際に身体を動かしながら、自らが感じ、想像し、自由に表現する体験をしました。そして「きつねとからす」や「三枚のお札」の物語のナレーションにあわせて、自由に表現する劇あそびを楽しみ、保育への展開について学びました。

今年度も当会では春季研修会に引き続き、7月には横浜、8月に福岡にてJAPE夏期幼年教育研修会を開催いたします。両大会とも多彩な講師をお招きし、実践と理論の両面で学びを深めることのできる研修を企画していますので、どうぞご期待ください。